

赤松の樹勢回復作業



赤松の所々葉が赤くなり始め、全体的に薄緑色です。樹に活力が無く、松葉の落ちる量が例年より多く見られます。



幹には苔が見られ、白い樹液（松ヤニ）が固まったところも見られます。

幹割れの後も見受けられ、害虫のすみかになる恐れがあります。



例年になく松の元気がないということなので、状態を観察したところ、上記のような特徴が見られました。

対応策として、苔・ヤニのかき落とし、幹割れ部の癒合剤塗布、樹勢回復剤（[ステミックス](#)）の樹幹注入及び松枯れ防止樹幹注入剤（[グリーンガードエイト](#)）の樹幹注入の施工を予定する。

時期は、10月後半に樹勢回復剤等を施工し、11月中旬ごろから1月末までの間に松枯れ防止剤の施工を予定します。

来年の夏場を乗り切り、樹勢が回復するのを期待します。



2010/10/23

樹木活力剤注入状況

ステツミックス 9本

樹木の幹に直接打ち込む活力剤

癒合剤A塗布

アカマツ表皮剥離部

癒合剤Aの塗布により幹部の保護

苔・ヤニのかき落としの施工



2010/10/23



2010/11/19

松枯れ防止材

グリーンガード注入 6本

マツ材線虫移動・増殖するのを防ぐ

4-5年の間隔で施工します。

薬効約5年



2011/9/8 翌年夏状況
夏を乗り切り、緑の回復が見られます。



2011/9/8 翌年夏状況
葉の改善が見られます。